

## 鹿児島大学歯学部の研究について

研究体制委員会委員長 小松澤 均

国立大学の組織改革の流れの中で鹿児島大学も大学院大学としての道を歩んできております。したがって、私達、大学院医歯学総合研究科に所属している教員は学生教育と研究に従事しなければなりません。また、臨床系の教員はこれに加えて臨床に従事されておられます。いずれも重要な職務ではありますが、研究の推進は日々の教育・臨床の忙しさで困難になることが時として出てくるかと思えます。しかし、大学院大学に所属する者の使命として、研究を行い、その成果を社会に還元・貢献することが重要であると考えます。

歯学部の研究といってもその範囲は非常に広範です。大きくは臨床研究、基礎研究に分かれますが、歯学部（研究科）に多くの分野が存在するようにその研究分野は多岐にわたります。しかし、研究の最終的な目標は社会貢献であり、大学院医歯学研究科という点から考えると特に国民の健康に寄与することが大切ではないでしょうか。そうしたモチベーションのもと私達は日々研究に研鑽すべきだと思います。こうした中から鹿児島大学独自の研究が創出され、世界に発信をすることが

鹿児島大学歯学部の大きな発展にもつながっていくと考えます。

今回の冊子には各分野の研究紹介が掲載されております。興味のある研究内容等がありましたら、ぜひ分野を超えて話をして頂きたいと思えます。また、大学院進学を考えている先生は興味ある研究内容がありましたら、ぜひその分野に一度話を聞きに行ってください。大学院生の充足、分野を超えた共同研究、研究マインドの向上などが歯学部の研究の活性化につながり、将来的には鹿児島大学歯学部の目玉になるような研究の創出・発信につながることを期待しております。

現在、歯学部研究体制委員会では研究の推進を図るため、歯系大学院説明会、歯系共同利用研究室の整備・充実化、研究に関するアンケートやセミナーの開催などについて検討し、一部実施してきております。今後とも歯学部の研究の活性化のためにご理解とご協力をお願い致します。

鹿児島大学歯学部から「キラリと光る研究の発信」をしていきましょう。